

## 5. 評価の結果

【評点（5段階）】 5：優れている 4：良い 3：普通 2：やや劣る 1：劣る

評価項目	早坂委員	沼澤委員	岡崎委員	東委員	富田委員	皆川委員	齋藤委員
I 教務に関する事項	4	4	5	5	4	5	5
II 学生に関する事項	4	4	5	5	4	4	4
III 専攻科に関する事項	4	4	5	4	4	5	4
IV 国際交流に関する事項	4	4	4	4	4	5	4
V 地域連携に関する事項	4	4	4	4	3	5	5
VI 管理運営に関する事項	5	4	5	5	4	4	5

### 各委員からのコメント

#### I 教務に関する事項

- 県内全域の学校訪問を実施するなど、入学者確保に精力的に取り組まれていると思います。近隣の県からも入学しており、これらも含めて学生に地域を知ってもらう講座をより充実していただくことを望みます。
- ビジョンが明確である。それに向けて、学科再編や研究と教育の連携など具体的な施策が進められている。  
入学者受け入れ方針が明確である。生徒に示す際には、4つの方針ごとに小見出しがあると、さらにわかりやすくなるとともに、構造化すると更に良い。  
授業アンケートの実施は、現代の潮流ではあっても、勇気を試される施策であり、その成果が生かされている。
- 学科再編から3年経過したということで、メリット・デメリットのデータを収集しながらPDCAで継続的な改善に努めていただきたい。
- 高専生サミットは良いイベントです。国の予算を獲得する努力を。
- 学科再編に伴う2年生からのコース配属制度も4年目を迎え、概ね希望通りのコースへ進んでいるとのことであり、学生へのきめ細かな教育・指導が行われていることに敬意を表します。複合的能力を備えた人材の育成に寄与するという観点からも、地元企業や地域と密接した学習の機会がさらに増えていくことを希望いたします。
- 入学者の確保活動がとても良い。特に中学校訪問と一日体験入学が素晴らしい。

## II 学生に関する事項

- アントレプレナーを目指す学生の育成
- 就職希望者のうち2割～4割が県内就職とのことですが、県内比率を高めるために連携して取り組みたいと思います。

なお、県外企業より地元企業の求人の動きが遅いとの説明がありましたが、県内就職率を高めるために、改善に向けて地域の産業界に働きかけてまいります。

- 進路指導が丁寧に行われていることは、学生にとってありがたいことである。求人倍率が常に高いことは、貴校の教育のレベルの高さに対する信頼度を表している。
- いろいろなきめ細かい指導や取り組みに敬意を表します。
- 学生募集にあたっては、近県等域外の中学校への訪問を積極的に展開されており、今後とも精力的に行っていただきたいと考えております。また、他地域の方々に鶴岡を知っていただける機会でもあり、市職員の同行について検討したいと考えております。

地元就職を中心とした進路指導についてご理解とご協力をいただいております。感謝申し上げますとともに、今後一層推進されることを改めてお願い申し上げます。

慶応大学との連携・交流については、教職員のみならずお互いの学生にとっても良い機会になると考えておりますので、是非実現されるよう期待いたします。

- ボランティア活動の取り組みに感心した。「テクノパラメディック in 飛鳥」を継続してください。

## III 専攻科に関する事項

- リーダー技術者の養成を目的とした融合・複合教育は貴校の強みであると思います。「地域に貢献する高専」、「国際通用性を持ったエンジニアを育成する高専」をビジョンに掲げる貴校においては、地元企業の競争力向上に資する人材の育成に引き続き取り組むとともに、本科生と同様に県内就職率の向上に努めていただきたいと思います。
- 大学との違いを明確にした特徴的な教育という視点を大事にしていることが、大変望ましい。何が学べるのかはっきりさせていることは、学生にとって目的意識の明確化や学習意欲につながっている。
- 地元大学や技科大と連携し地元企業との共同研究を増やしていただきたい。
- 専攻科生の優れた研究成果や進路状況については、学科からの一貫性のあるカリキュラム及びご指導の賜物と思料いたします。教員の更なる資質向上とともに、AO入試の導入等によって社会人や留学生など多様な人材を受け入れながら、教育プログラムの更なる充実を図っていただきたいと考えております。
- 実践的教育の内容が若干乏しい気がした。もう少しグローバルな見方が必要だと思う。

## IV 国際交流に関する事項

- これからも更に交流を盛んにして下さい。

- 多くの留学生が日本で就職しているとのことですが、庄内に残る留学生が増えるよう、企業はもとより地域との交流の機会をつくっていただきたいと思います。
- 今後、学生の皆さんは、エンジニアとして、外国人との連携が求められてくるでしょうが、異文化理解や基本的な人権に関する理解が大事になってくる。多くのアジア人との交流機会を持てるようにすることが必要になる。この点について貴校の裁量権の範囲の中でできることは何かを示し、学生の人材育成をしていく必要がある。
- 活発に国際交流を進めておられることに敬意を表します。若いうちから海外に出て行って視野を広めさせてください。
- 国際交流は、教育・研究活動の一層の充実に欠かすことのできない視点であると考えます。学生にとって留学が大変有意義な機会になっているとのことであり、グローバルに活躍できる人材を育成するため、戦略的な提携関係の構築や、海外においてより実践的な学びが得られるカリキュラムの整備など、更なる展開にご期待申し上げます。
- 今以上の交流が出来るように頑張ってください。

#### V 地域連携に関する事項

- 企業との交流、インターンシップを通して、企業の理解を深めてほしい。特に地元の企業との交流を。
- CO-OP 教育と地域企業訪問研修の受入れ先は大企業が多いが、庄内には力のある中小企業も多くあります。中小企業が事業を発展させていくには優秀な技術者の確保が必要ですので、マッチングに協力させていただきたいと思います。
- 地域との連携という視点を持った学校経営は、これから更に求められる流れだと思います。ただ、貴校の地域連携は、地域の企業との連携の意味合いが強く感じられます。連携でねらうことを明確にして取り組んでいけばいいと考えます。一方、地域貢献の考え方には、地域連携の視点が入っておりましたので、貢献という視点から取り組みを進めていけばいいと感じます。
- 地元企業へのインターンシップや CO-OP 教育などを通して、学生や保護者に地元企業の良さを知ってもらう取り組みを積極的に進めていただき、地元就職者増と地元産業の活性化を期待します。
- K-ARC と慶應の連携が全くないのがとても残念。
- 鶴岡高专技術振興会との連携事業をはじめ、K-ARC での研究や CO-OP 教育など様々な形で取組まれており、市としても地域連携センターを通じ連携を密にして事業をさせていただいております。地域企業の競争力向上に資する実用化研究等での連携や、地域課題解決のための活動等、貴校の持つ知見を幅広く本地域に提供いただき厚く感謝申し上げます。

今後、学生が卒業後にも当地域で活躍していただくことを重要なテーマとし、保護者を含め地元企業を知っていただく取組みなど、各事業で一層の連携を図らせていただきました。

いと考えております。

- とてもすばらしい。地域連携センターの今後の活躍を期待します。

## VI 管理運営に関する事項

- 前校長、現校長の前向きな姿勢がとても良い。
- 運営費交付金の削減など財政事情は厳しさを増していますが、地域企業からの支援拡大や寄付事業など外部資金の獲得に務めていただきたいと思えます。
- 予算の効率化等、予算削減に対して必死の取組をしていることに感謝申し上げます。
- 予算削減の大変な状況の中で、外部資金獲得や経費節減に成果をあげられていることに敬意を表します。
- 更なる外部資金の獲得に向け、教職員の方々の資質向上に係る取組みはさらに重要になるものと思料いたします。一方で、貴校の多方面にわたるご活躍と並行し、教職員の方々の業務量も増加の傾向にあるかと拝察いたしますので、職務環境等に関するマネジメントについてもご留意いただければと存じます。
- 予算獲得大変でしょうが頑張ってください。

### 【総評】鶴岡工業高等専門学校に対する全般的な意見

- 若者の地元定着は当地域の最重要課題であり、特に貴校の学生は地域のものづくりのリーダー役として産業界の期待は大きい。CO-OP教育等の充実に向けて連携させていただきたい。
- どの事項においても真摯な取り組みが見て取れました。また、今後の国の動向や社会の変化に対応しようとする姿勢が伝わってまいりました。校長先生をはじめとして、教職員の皆様が丸となって、学校をさらに良くしていこうという気概に溢れていることに敬意を表します。貴校のますますの発展を祈念しております。
- 種々の先導的な取り組みを展開されており、他の模範となるものであり敬意を表します。PDCAで継続的な改善に努め、今後のさらなる発展を期待します。
- バイオキャンパス内にK-ARCを作ったのだからバイオ系の教員・学生を増やしてほしい。
- 「研究する高専」、「地域に貢献する高専」、「国際通用性を有するエンジニアを育成する高専」を目指し、日々取り組まれている姿勢とその実績に深く敬意を表します。  
ご報告いただいた質の高い教育・研究活動を継続しながら、新たな取組みへの挑戦やご意見のあった部分の改善等を含め、一層力強く前進されることをご期待申し上げます。